

事前評価個表

整理番号	3
------	---

地域（地区）名	いぶりとうぶ 胆振東部	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	とまこまい 苫小牧市ほか4町
事業実施期間	R3年度～R7年度（5年間）	事業実施主体	道、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>むかわ町から白老町まで、東西に長く伸びた区域で、南は太平洋に面し、西に樽前山、支笏湖、東は日高山脈へと続く勇払平野を中心とした区域。</p> <p>本地区の総面積234千haのうち、森林面積は161千ha（森林率69%）となっている。このうち、民有林における人工林の面積は32千ha（人工林率33%）で、トドマツが21%、カラマツが59%を占めており、年齢構成はⅧ年齢級以上が72%と利用期を迎えており、今後、伐採量の増加が見込まれている。</p> <p>また、本地区内の林道延長は297千mで、公道等を含む林内道路密度は10.7m/haとなっており、このほかに林道の支派線として森林作業道が整備されている。</p> <p>本地区内の民有林人工林のうち9千ha（人工林の28%）がⅦ年齢級以下で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、高齢化や後継者不足により森林所有者の森林施業への意欲減退や、造林事業の担い手不足により、手入れが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞ることが懸念されている。</p> <p>このため、森林のもつ水源涵養^{かん}や土砂流出防止等の公益的機能の高度な発揮の維持増進を目指し、胆振東部地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：10,911 ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：林道開設及び改良 延長 10,229m</p> <p>総事業費：3,323,485千円（税抜き3,021,350千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 4.92$</p> <p>（総便益（B）=21,215,523千円、総費用（C）=4,316,099千円）</p>
評価結果	<p>必要性：利用期を迎えている森林を多く保有し、今後主伐後の更新や適正な保育・間伐が求められる地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の高度な発揮の維持増進を図るため、適正な保育・間伐等の森林整備の実施及びそれに必要な基盤整備として路網の整備を実施する事業であり、有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

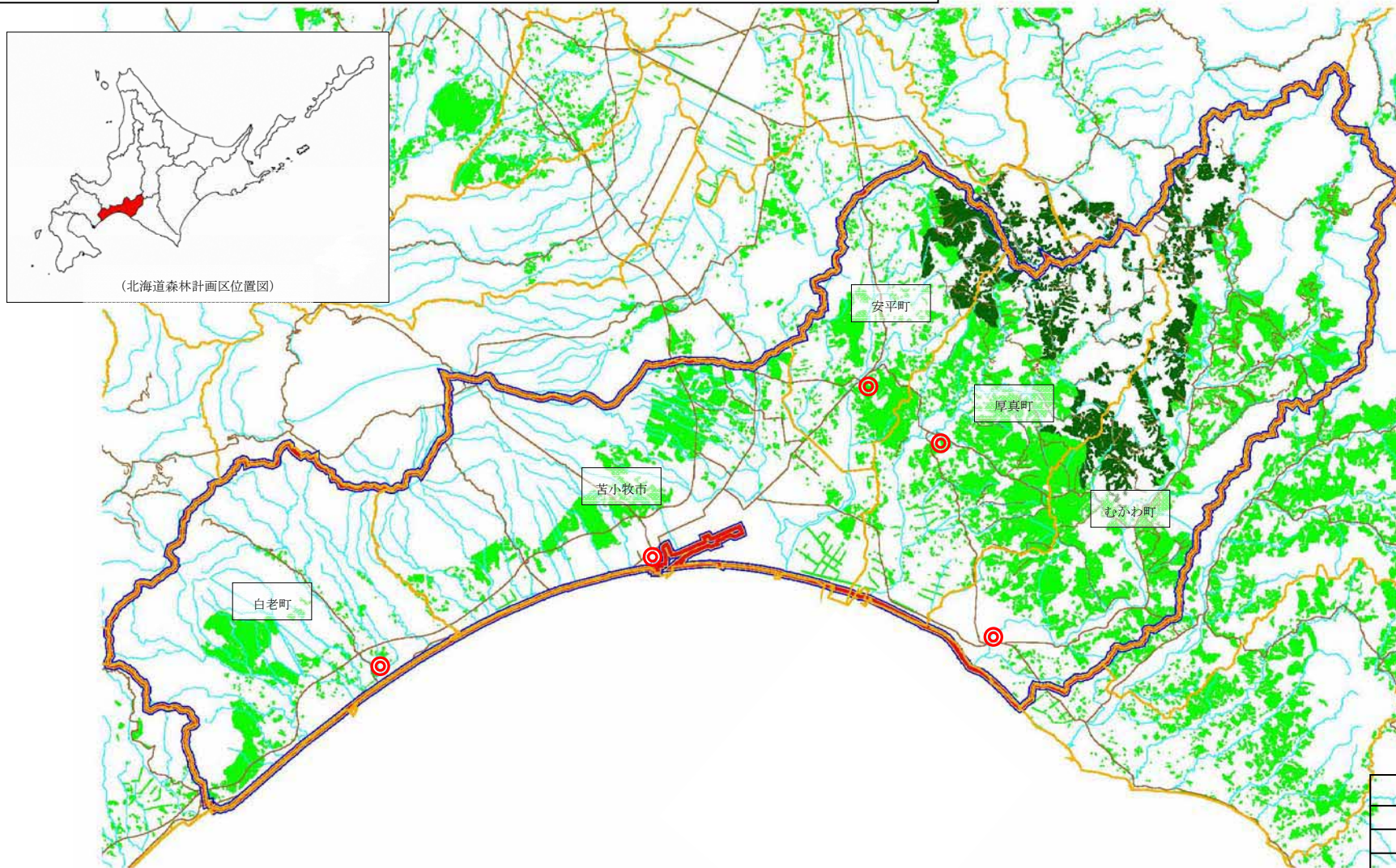
都道府県名：北海道

地域(地区)名：胆振東部

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	5,454,918	
	流域貯水便益	1,329,664	
	水質浄化便益	4,830,616	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,137,528	
環境保全便益	炭素固定便益	1,402,302	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	5,933	
	木材生産確保・増進便益	1,429,931	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	66	
	森林整備促進便益	959,666	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	664,199	
維持管理費縮減便益		700	
総 便 益 (B)		21,215,523	
総 費 用 (C)		4,316,099	
費用便益比	$B \div C = \frac{21,215,523}{4,316,099} = 4.92$		

森林環境保全整備事業 胆振東部（北海道）



凡 例	
計画区界	— (Blue line)
事業区域	— (Yellow line)
森林整備	— (Red line)
国道・主要道	— (Brown line)
河川	— (Light blue line)
市町村界	— (Yellow line)
市町村役場所在地	⊙ (Red circle)
一般民有林 (人工林)	■ (Light green)
道有林 (人工林)	■ (Dark green)